

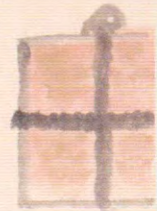
恋こ重い荷の
おもおにも

山本博之五十回忌
山本眞義二十三回忌

追善能

清き経よ

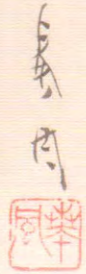
恋こノ音取いのねとり



令和4年10月8日(土)

午後1時始(開場12時30分)

会場 大槻能楽堂



番組

連吟

海士

山下 あさの
前田 和子

今村 一夫
松浦 信一郎
波多野 哲郎
森本 哲郎

仕舞

天鼓

山本 麗晃

今村 一夫
波多野 晋
山本章弘
森本 哲郎

能

大槻 裕一

山本 博通

清

経

恋之音取

福王 知登

守家 由訓
古田 知英

野口 亮

後見

赤松 禎友
大槻 文蔵
松浦 信一郎

水田 雄晤
武富 康之
森本 哲郎
梅若 基徳

生一 知哉
波多野 晋
山本 順之
上野 雄三

休憩

狂言

簸

屑

野村 万作

野村 裕基
野村 萬斎

後見

高野 和憲

清経 あらすじ

枕や恋を知らずらん

平清経の家来である淡津三郎(ワキ)は、清経が筑紫(現在の福岡県)の戦に敗れて平家の前途に絶望し、豊前国(現在の大分県)柳ヶ浦で入水したために、その遺髪を持って都に帰ります。淡津は清経の妻(ツレ)を訪ねて遺髪を渡しますが、妻は自害した夫の心を恨み、悲しみの種となるから、と突き返します。

妻は夫の清経を思い、涙にくれますが、夢の中に清経が現れ、形見の髪を返したことを咎めます。妻もまた自ら命を捨てた夫に恨みを言い、不幸な身の上を嘆き、お互いに涙を流します。清経は、滅びていく平家一門の運命を悟り、月の夜、船の上で笛を吹くと念仏の声と共に身を投げた様子を語ります。さらに死後に落ちた修羅道の凄惨な様を見せませんが、死の間際に唱えた念仏の功力によって、成仏しました。

「恋之音取」という小書がつくと、シテの出が地謡もお囃子もなく、笛の独奏となり、笛の名手であった清経が、笛の音に惹かれて死後の世界からやってくるという特別な演出になります。

仕舞

笠之段

観世三郎太

江口

大槻文蔵

藤戸

上野朝義

山田 薫
杉浦 豊彦
上田 貴弘
坂口 貴信

舞囃子

融

酌之舞

観世清和

山本哲也
成田達志

中田弘美
左 鴻泰弘

井上裕之真
坂口 貴信

上野雄三
上野朝義
浦田保浩

休憩

能

今村一夫

山本章弘

恋重荷

福王茂十郎

谷口正壽
飯田清一

井上敬介
左 鴻泰弘

間 深田博治

後見

観世清和

観世三郎太

山田 薫
齊藤 信輔
井戸 良祐
長山 耕三

浦田保親
杉浦 豊彦
上野朝義
浦田保浩

午後五時終演予定

恋重荷 あらすじ

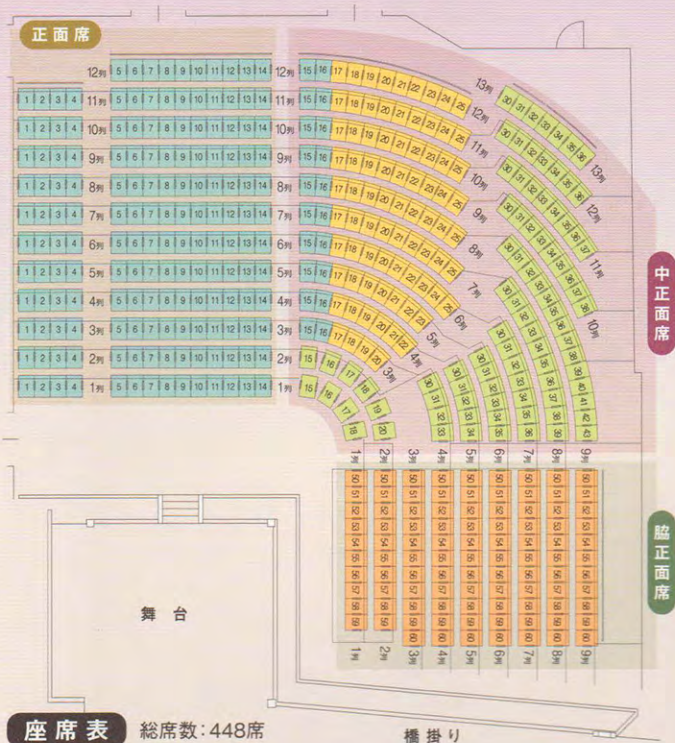
恋よ恋、わが中空になすな恋

山科荘司(前シテ)は、白河天皇に仕え庭の菊の世話をしていました。庄司は白河天皇の女御の姿を見て恋心を抱きます。それを知った女御は臣下(ワキ)を通じて、美しい錦で包まれた荷物を持って、庭を百度・千度と回れば、思いに応え、姿を見せてあげると言います。しかし、その荷物の中身は持ち上がるはずのない重い石でできていました。一途な恋心を持った荘司は諦めずに、必死になつて荷物を持ち上げようとしますが、ついに力を使い果たし、絶望の中、女御の仕打ちを怨みながら死んでしまいます。

従者の報告によつて荘司の死を知った女御は、憐れに思いその亡骸を見に行きましたが、体が岩に押しさえつけられたようになり、立ち上がることができなくなりました。

そこに怨霊となつた荘司(後シテ)が現れ、女御への恨みを述べ、地獄で苦しんでいることを伝え、女御を責めたてますが、やがて心が解けて、供養してくれるなら、守護神となつて女御の幸せを見守りますと言ひ残して消えていきました。

卑しい庭師と高い位の女御、老人と若い女性。様々な「格差の恋」の中で、恋する者の期待、不安、嘆き、そして怒り、恨みが巧みに描かれています。世阿弥は「この能は、色ある桜(女御/美)に柳(老人/強さ)の乱れたるようにすべし」と書き残しています。



座席表 総席数：448席

全席指定公演の区分

S席 A席 B席 C席 ※学生席はC席です

料金

	前売	当日
S席 正面指定	10,000円	12,000円
A席 脇正面指定	8,000円	10,000円
B席 中正面指定	8,000円	10,000円
C席 中正面自由	7,000円	9,000円
学生券 中正面自由	2,000円	3,000円

- ・会場内でのマスク着用・手指消毒・ご来場前の検温などご協力をお願いいたします。
- ・許可無き撮影・録音はご遠慮ください。
- ・見所内では携帯電話の電源を必ずお切りください。
- ・出演者は都合により変更になることもございますがご了承ください。

チケット取扱い

e+ イープラス <https://eplus.jp/>



山本能楽堂

ホームページ <http://noh-theter.com>
 TEL 06-6943-9454 (平日10時～17時)
 Eメール ticket@noh-theater.com

大槻能楽堂

窓口販売のみ(11時～16時、不定休)

主催・お問い合わせ

公益財団法人 山本能楽堂

TEL 06-6943-9454
 Eメール yamamoto@noh-theater.com
 ホームページ <http://noh-theater.com>



令和4年度(第77回)文化庁芸術祭参加公演

ごあいさつ

本年は祖父・博之五十回忌、父・眞義二十三回忌にあたり、追善会を二十六世観世宗家 観世清和師、観世三郎太師、並びに諸先輩方にご出演を賜わり開催させていただきます。

私は、観世御宗家様のお許しを頂戴し「恋重荷」を、山本博通は「清経 恋之音取」をそれぞれ勤めさせて戴き、亡祖父・亡父、先祖への手向けとさせていただきます。

日々精進し、真摯に舞台を勤めさせて戴く所存でございますので、皆様方の御来場を心よりお待ちしております。

山本 章弘

《表紙の絵》 写真提供：奏風 秀世記念 松野藝文館

松野奏風(まつの そうふう) 1899—1963

月岡耕魚に師事。能画を専らとし、木版画集や謡本の挿画などのほか、能の評論、解説など、幅広い活動でも知られた。

また各地の能舞台、敷舞台で鏡板の老松図を手がけており、大阪・山本能楽堂、京都・河村能舞台の鏡板老松図にも筆を染めた。



会場 大槻能楽堂

〒540-0005 大阪市中央区上町A番7号
 TEL.06-6761-8055 (受付時間 11時～16時、不定休)
<https://noh-kyogen.com/>

- 大阪メトロ「谷町四丁目」駅下車、⑩号出口を出て南へ約300m(⑩号出口にエレベーターあり)
- 大阪メトロ「谷町六丁目」駅下車、⑦号出口を出て北へ約350m(⑦号出口にエレベーターあり)
- 大阪シティバス「国立病院大阪医療センター」下車南へすぐ。
 ＊「大阪駅前」から62号系統「住吉車庫」行き乗車。
 ＊「あべの橋」から62系統「大阪駅前」行き乗車。
- ※大槻能楽堂に駐車場はございません。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。